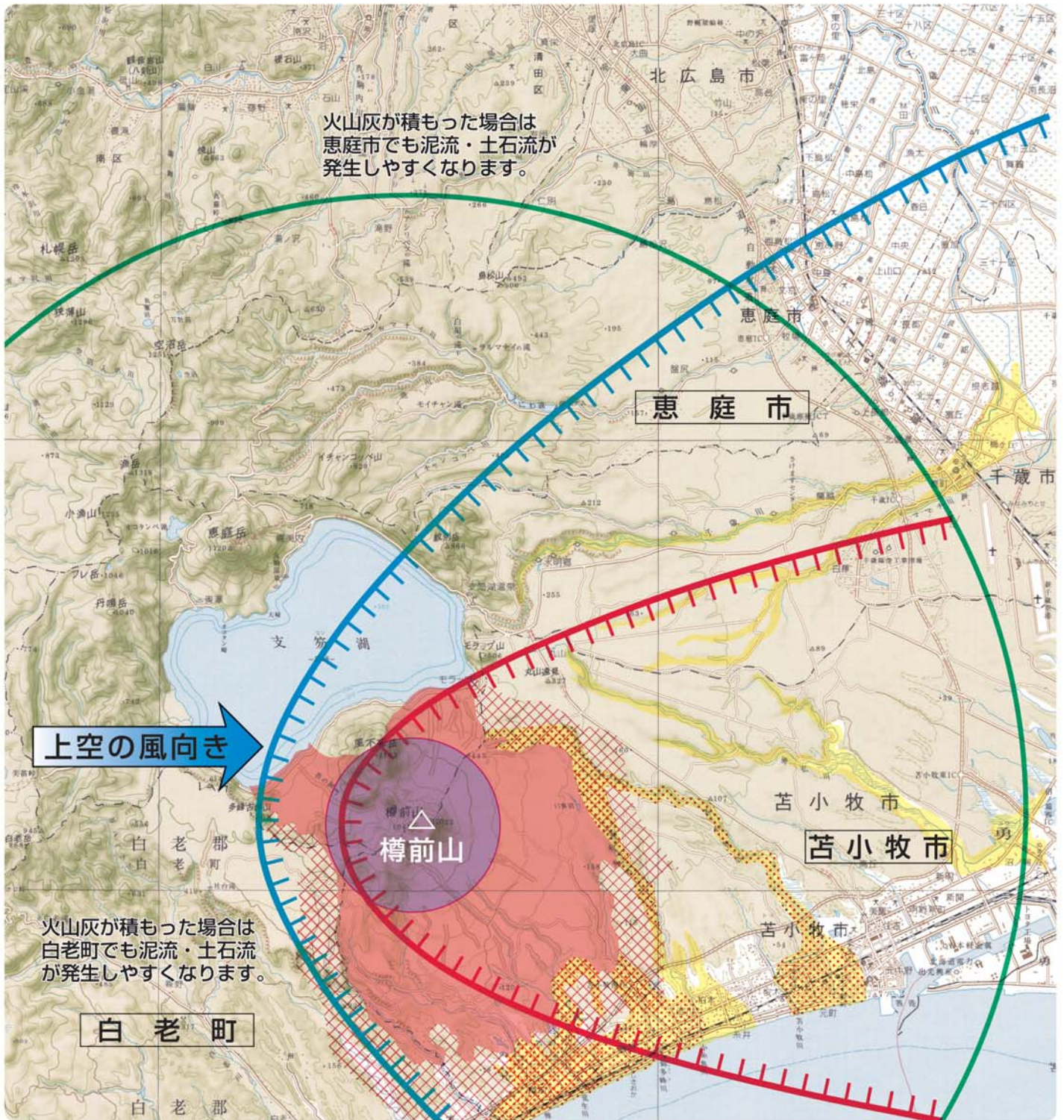


火山災害に備える



凡例

1739年の噴火と同じ大きさの噴火が起こった場合にはこんな危険性があります……

【火砕流】



危険度重大
火砕流の本体に襲われる危険性の高い区域



危険度大
火砕流の熱風部に襲われる危険性の高い区域

【噴出岩塊】



危険度重大
直径15mの岩が飛んで来る危険性の高い区域

【火山灰の降下】



危険度大
100cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域



危険度中
25cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域
この区域の外にも降灰の可能性がります

【火山灰の降下】



風向きによっては100cm以上火山灰が堆積する可能性のある区域
この区域の外でも25cm以上火山灰が堆積する可能性があります

【泥流・土石流】

積雪期には……

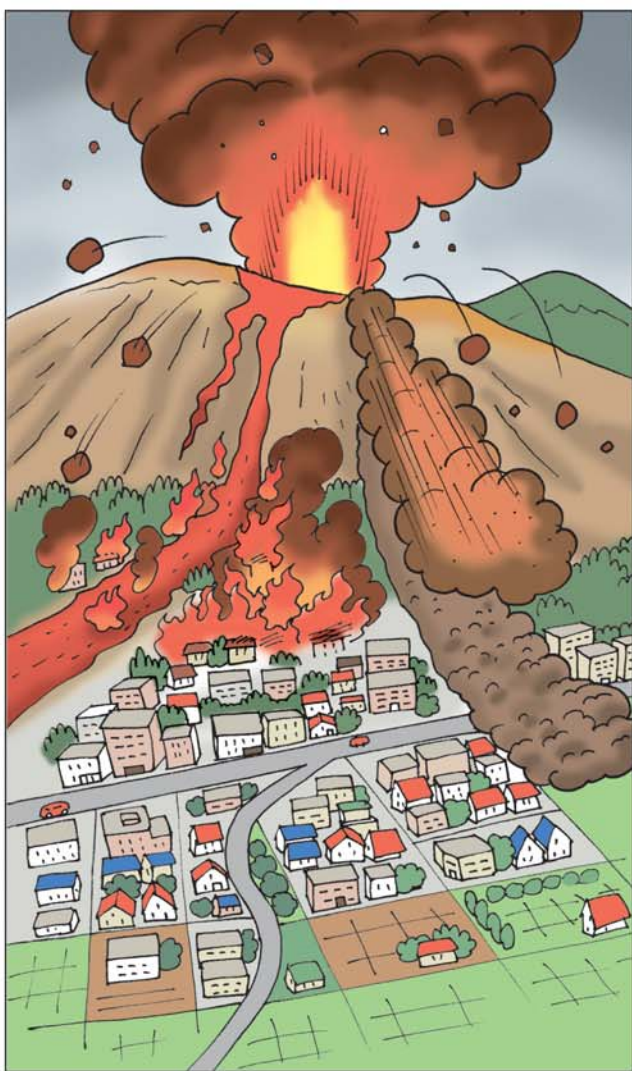


危険度重大
積雪が火砕流の熱で融かされて発生する泥流が氾濫する危険性の高い区域

火山灰が積もった地域(西風の時を想定)では……



危険度大
雨のときに泥流・土石流が氾濫する危険性の高い区域
※降灰の分布によって危険区域は変わるので、これ以上の谷にも危険性があります



樽前山が噴火するとこんな現象が起こります。

降 灰

火山灰は、上空の風に運ばれます。上空の風は、地上の風とは異なり、樽前山付近は強い西風が多く、そのために降灰の危険区域は主に樽前山の東側に広がります。

噴 石

爆発的な噴火によって岩石が吹き飛ばされます。小さな噴石でも直接体に当たると大けがをする危険性があります。

溶岩流

溶岩流とは高温の溶岩(マグマ)が斜面を流れ下る現象です。溶岩流が沼地や川に流れ込むと激しい二次爆発を引き起こすこともあります。

火砕流

数百度の岩石やその破片が、斜面を高速で流れ下る現象です。火砕流の特徴は、きわめてスピードが速いことで、遅いものでも時速100km~200kmに達します。

泥石流・土石流

土・岩片などが水と混ざり合って時速数10km程の高速で谷を流れ、谷の出口で氾濫する現象です。谷や谷の出口、低い場所が危険区域になります。

積雪の上に火砕流などが発生し、熱で雪が一気に融けた時や降灰のあったところに雨が降ったときに発生します。

もし噴火が始まったら

デマに惑わされないようにしましょう。

気象台や測候所が発表する火山情報に注意しましょう。

避難時の服装

ヘルメット
ゴーグル
タオル
リュックサック
軍手

テレビやラジオ、行政機関の広報など正しい情報を得ましょう。

市長から避難勧告などの指示があった場合には指示に従いましょう。

警報の区分

警報・予報区分	警報の呼び方	警戒レベル(キーワード)
噴火警報	噴火警報 正式噴火警報(居住地域)	レベル5(避難) レベル4(避難準備)
	火口周辺警報 正式噴火警報(火口周辺)	レベル3(入山規制) レベル2(火口周辺規制)
噴火予報		レベル1(平常)